

第336回大阪大学臨床栄養研究会

日時：平成25年4月8日(月) 18:00～

場所：大阪大学医学部 講義棟2階B講堂(吹田市山田丘2-2)

テーマ：「アディポネクチンによる術後感染症の迅速予測と

新たな増幅システムの開発」

滋賀医科大学医学部附属病院 消化器外科 山本 寛 先生

脂肪細胞由来善玉ホルモンであるアディポネクチンはメタボリックシンドロームのマスター分子として、抗糖尿病・抗高血圧・抗高脂血症作用などの栄養学的観点から主にその意義が明らかにされてきた。今回我々は外科周術期・救急領域における血清アディポネクチンの意義を検証し、新たな術後感染症予測パラメータ及び血清アディポネクチン増幅システムを開発したので紹介する。

1. 胃癌の待機手術患者を対象とし術前後血中アディポネクチン比が胃癌手術後感染の有無を予測する上で重要な因子であることを明らかにした。本パラメータは術後感染症と関連の深い既知因子である手術時間・出血量・術後1日目のCRPよりも臨床的に有用であることをROC解析によって示した(PLOS ONE 2013)。

2. 敗血症など血液浄化が必要な患者に我々が開発した新たな血漿交換システムを用いる事により、飛躍的にアディポネクチンの上昇効果が得られることを見出した。現在、低アディポネクチン改善のため、栄養学的あるいは機能性食品や薬剤などを用いた積極的介入が行われているが、本血漿交換システムはアンチエイジングを含む様々な領域で新たな介入手段として期待される。

協賛：梅北エリアでの食品機能性表示の規制緩和を求める会

世話人：生体機能補完医学 伊藤 壽記

E-mail: jimu@cam.med.osaka-u.ac.jp

次回、第337回 CNC は、小児科 大園恵一先生のお世話で
平成25年5月13日開催予定です。